

これまでにない舟の体験が生まれる

TOKYO FUNECTION!

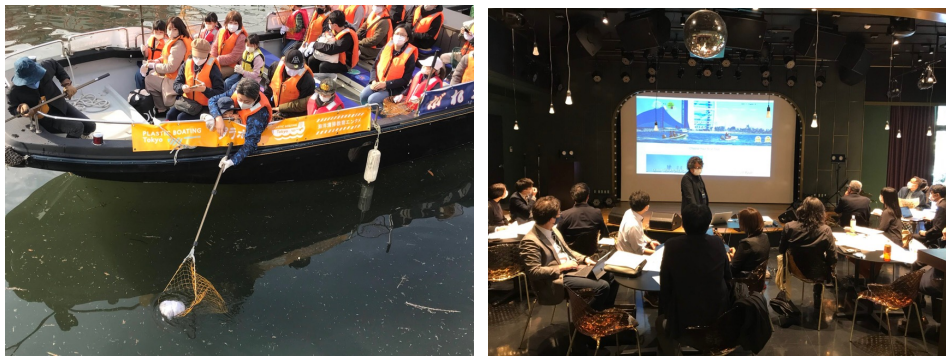
2021年の活動と成果

舟運活性化コンソーシアム
TOKYO 2021

2021.3

TOKYO FUNECTION !

オープンに、フラットに、いまの時代らしく
舟の新しい楽しみ方をつくっていく
舟から社会を動かしていくアクションです



左上：プラボー！@小梅棧橋船着き場、右上：アイデアプレワークショップ、左下：水上会議室、右下：オンラインミーティングTOKYO FUNECTION!

2021年度の活動報告と達成したこと

舟運活性化コンソーシアムTOKYO 2021は、「東京の舟運の分野で、多様な主体による連携協働により、いままでにない価値を創造すること」を目的とし、2021年9月に発足しました。2021年に本コンソーシアムが具体的にどのようなことを達成したのかについて、いくつか例を挙げてご紹介します。

舟運活性化コンソーシアム 設立の背景と目的

東京ではこれまでも様々な舟運活性化の活動がありましたが、行政にまかせきりではなく、民間や地域が連携して役割を担っていく活動が必要です。舟運活性化コンソーシアムTOKYO2021は、水辺に関わる様々な主体が連携し、世界に自慢できるような、魅力的な水辺を目指して、ユーザー目線でイノベーションを起こしていくことを目的としています。

活動内容

- (1) 情報発信
舟運活性化にむけて、ユーザーの行動変容を促す情報を発信します。
- (2) 舟運の分野での連携協働のファシリテーション
地域、業界、立場に関係なく、実現するためのつながりをつくっていきます。
- (3) 舟を活用した事業創出の伴走支援
面白いアイデアを、事業者様と一っしょに次々と実現していきます。

事務局メンバー

事務局では、週一回の定例を2021年2月から継続しておこなっています。



岩本唯史 (事務局代表)
株式会社水辺総研 代表取締役
「ミズベリング」ディレクター



重松健 (企画・戦略担当)
Laguarda.Low Architects 共同代表
inspiring dots 主宰



大岡明日香 (デザイン担当)
株式会社水辺総研



中川雅俊 (PR担当)
合同会社quod 共同代表



草野明日香 (編集担当)
編集者/ライター



中島泰 (戦略担当)
公益財団法人日本交通公社 観光地域研究部
環境計画室長/上席主任研究員



佐藤真里奈 (PR担当)
合同会社quod



細田脩 (コミュニケーション担当)
株式会社水辺総研/隅田川整清 事務局/
すみだ青空市ヤチャバ 事務局/
NPO法人 江東区の水辺に親しむ会 理事



山野道彦 (コミュニケーション担当)
沿線価値向上研究所

活動と成果

アイデアブレストワークショップ(2021年3月)

3月22日(ポートシティ竹芝)31日(waters 竹芝)に開催。この活動に協賛頂いた、各社・各機関・個人に参加いただき、舟運商品づくりや水辺の魅力創出に貢献へのアイデアを共有しました。いくつかのアイデアは2021年に実際に実施されました。

清掃教育エンタメ「プラボー！」(2021年7月/11月/12月)

船上から河川や運河に浮かぶプラスチックゴミを拾う、清掃教育エンタメ「プラボー！」を企画・開催。これは、3月のワークショップから生まれた企画で、7月3・4日(@WATERS竹芝/協力:ちょっと先のおもしろい未来実行委員会、(一社)竹芝タウンデザイン (WATERS 竹芝)、11月28日(@汐浜運河イベント棧橋/協賛:東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会)、12月12日(@小梅橋船着場/主催:墨田区、協賛:東武鉄道株式会社)、それぞれ開催しました。各回合わせて、およそ100名の方が参加され、参加者と一緒に海洋プラスチック汚染やアップサイクルについて学びました。

また、12月の開催回の主催である墨田区は「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に選定されています。それに関連して、プラボー!の取り組みは墨田区のホームページにて、SDGs推進の取組事例として紹介されました。



左上: アイデアブレストワークショップ、右上: アイデアブレストワークショップのグラフィックレコーディング
左下: プラボー! @WATERS竹芝、右下: プラボー! @汐浜運河

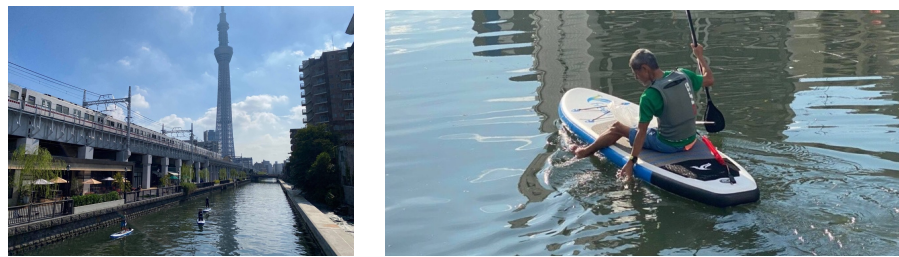
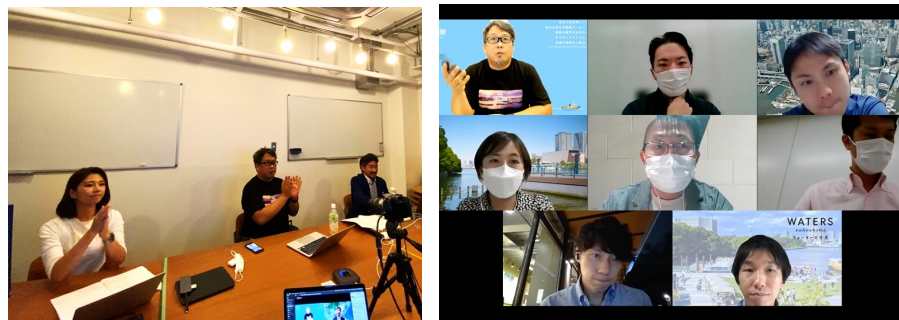
オンラインミートアップTOKYO FUNECTION! (2021年9月)

9月2日、舟運活性化コンソーシアムTOKYO2021設立記念イベントとして、「オンラインミートアップTOKYO FUNECTION!」が開催され、ゲストに高松巖さん(水都東京・未来会議ネットワーク分科会リーダー)をお招きしました。また、東京の水辺開発に関わるの大手デベロッパー・鉄道会社から、さまざまな立場の方々が登壇し、水辺の開発プロジェクトについてお話いただきました。当日の様子はWEBで配信され、東京の水辺と舟運の未来を語り合う一夜となりました。

(当日の様子は、Facebook liveからご覧になれます：
<https://www.facebook.com/TokyoFunction/videos/515559932839477>)

北十間川で初のSUP体験会 (2021年9月)

9月23日、東京都墨田区北十間川にある小梅船着場にて、SUP体験会が開催されました。舟運活性化コンソーシアムTOKYO2021は、墨田区実施の小梅橋船着場を活用した社会実験の参加事業者として登録されており、今回はその社会実験の一環として、企画・実施を行いました。北十間川では初めてのSUP体験会でしたが、募集していたほぼすべての枠が満員になりました。



上: オンラインミートアップTOKYO FUNECTION! の配信の様子 下: 北十間川のSUP体験会

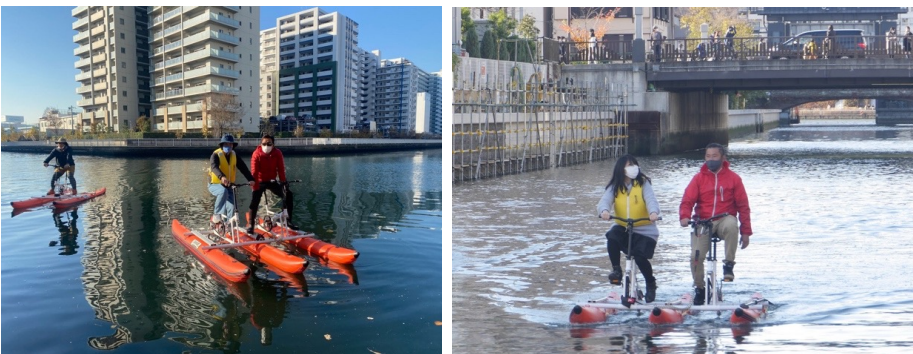
活動と成果

北十間川で、水上会議室の社会実験を実施(2021年12月)

舟運活性化コンソーシアムは、SIC合同会社（夢観月）主催、WISE OWL HOSTELS RIVER TOKYO協力のもと、12月1日、15日に小梅橋船着場にて水上会議室の社会実験を実施しました（12月1日は荒天により中止）。この企画は、船着き場および屋形船の稼働率の低い平日の昼間の時間帯を利用した新たな活用方法の模索として、水上でリモートワークできる会議室を提供する取り組みです。当日は様々な方が体験し、午後は貸し切りで予約いただくなど、次につながる取り組みとなりました。

汐浜運河、北十間川で水上自転車体験会を開催(2021年12月)

舟運活性化コンソーシアムが企画協力しました、水上自転車体験会が、12月4日と5日に開催されました。会場となった汐浜運河（4日）・北十間川（5日）では、水上自転車の体験会は初開催になります。当日は、有料（500円/10分）にも関わらず、大変多くの方が乗船し、一時は1時間待ちになるほどの人気ぶりとなりました。



上：水上会議室、左下：水上自転車体験会@汐浜運河、右下：水上自転車体験会@北十間川

舟運商品の実施状況

会員の皆さまのご協力もあり、3つの舟運商品（プラボー！、水上会議室、水上自転車）の実施ができました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございます。舟運商品企画については、2022年度もサウナ船企画など、実施に向け進行中です。

事務局定例とオープン定例

事務局では、週一回の定例を2021年2月から行っており、継続しています。また、不定期で会員の皆様も参加できるオープン定例も実施してきました。

広報活動

事務局では、次の通りの広報活動を行ってきました。

- ・WEBサイト運営（2021年9月オープン）
- ・Facebook運営（フォロワー数：約470）、
- ・WBF（ワールドビジネスフネ/世界の船に関わるニュース）の配信
- ・各イベントの記事作成（5本）
- ・会員向けメールレターの配信（4回）



左上：水と東京未来会議にオンラインミートアップTOKYO FUNECTION! の配信の様子 下：北十間川のSUP体験会